



Shape your future

CEC
Computer Engineering & Consulting

2016年1月期第2四半期 決算説明会

株式会社シーイーシー

2015年9月11日

アジェンダ

- I. 第2四半期累計の経営成績
- II. 通期見通し
- III. 成長戦略
- IV. トピックス



第2四半期累計の経営成績

前年度比較

(単位：百万円)

	2015年1月期 (第2四半期累計)	2016年1月期 (第2四半期累計)		
			増減額	増減率
売上高	20,746	21,732	+985	+4.8%
営業利益	1,386	1,746	+360	+26.0%
営業利益率	6.7%	8.0%	(+1.3%)	—
経常利益	1,356	1,875	+519	+38.3%
経常利益率	6.5%	8.6%	(+2.1%)	—
当期純利益	831	17	▲814	▲97.9%
当期純利益率	4.0%	0.1%	(▲3.9%)	—

業績予想比較

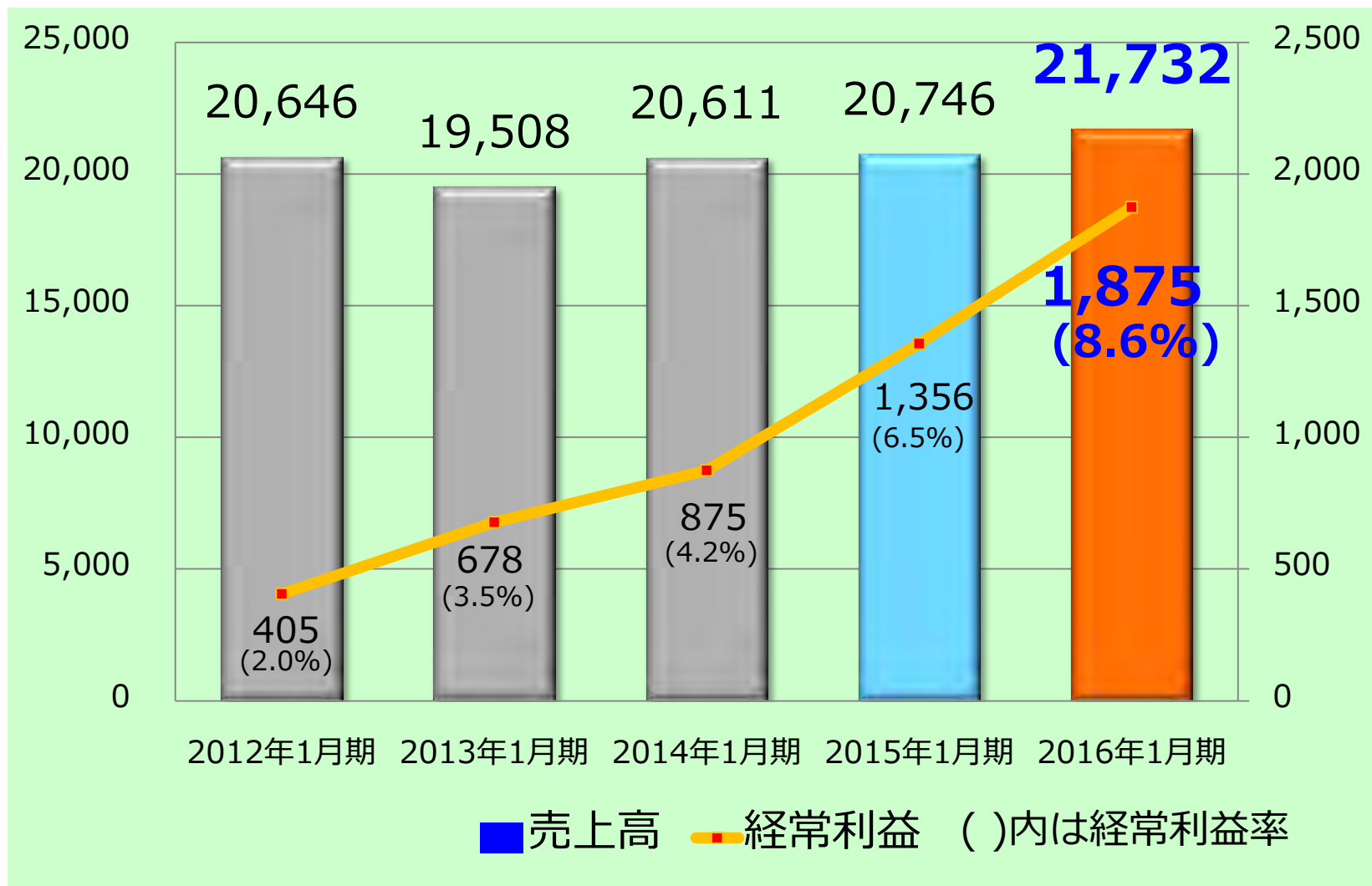
(単位：百万円)

	2015年3月 (第2四半期累計) 予想	2015年6月 (第2四半期累計) 修正予想	2015年7月 (第2四半期累計) 実績	2015年3月 予想に対する 達成率
売上高	21,300	21,500	21,732	102.0%
営業利益	1,150	1,550	1,746	151.8%
営業利益率	5.4%	7.2%	8.0%	148.8%
経常利益	1,150	1,650	1,875	163.0%
経常利益率	5.4%	7.7%	8.6%	159.8%
当期純利益	▲700	▲200	17	—
当期純利益率	▲3.3%	▲0.9%	0.1%	—

過去5年の売上高・経常利益の推移

売上高(単位：百万円)

経常利益(単位：百万円)



事業セグメント別前年度比較

(単位：百万円)

	2015年1月期 (第2四半期累計)		2016年1月期 (第2四半期累計)		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インダストリー オートメーション	4,507	675	4,694	844	+186	+169
システム インテグレーション	9,548	1,467	11,058	1,795	+1,510	+327
プラットフォーム インテグレーション	6,690	916	5,979	689	▲711	▲227
全社費用	—	▲1,673	—	▲1,583	—	+90
全事業	20,746	1,386	21,732	1,746	+985	+360

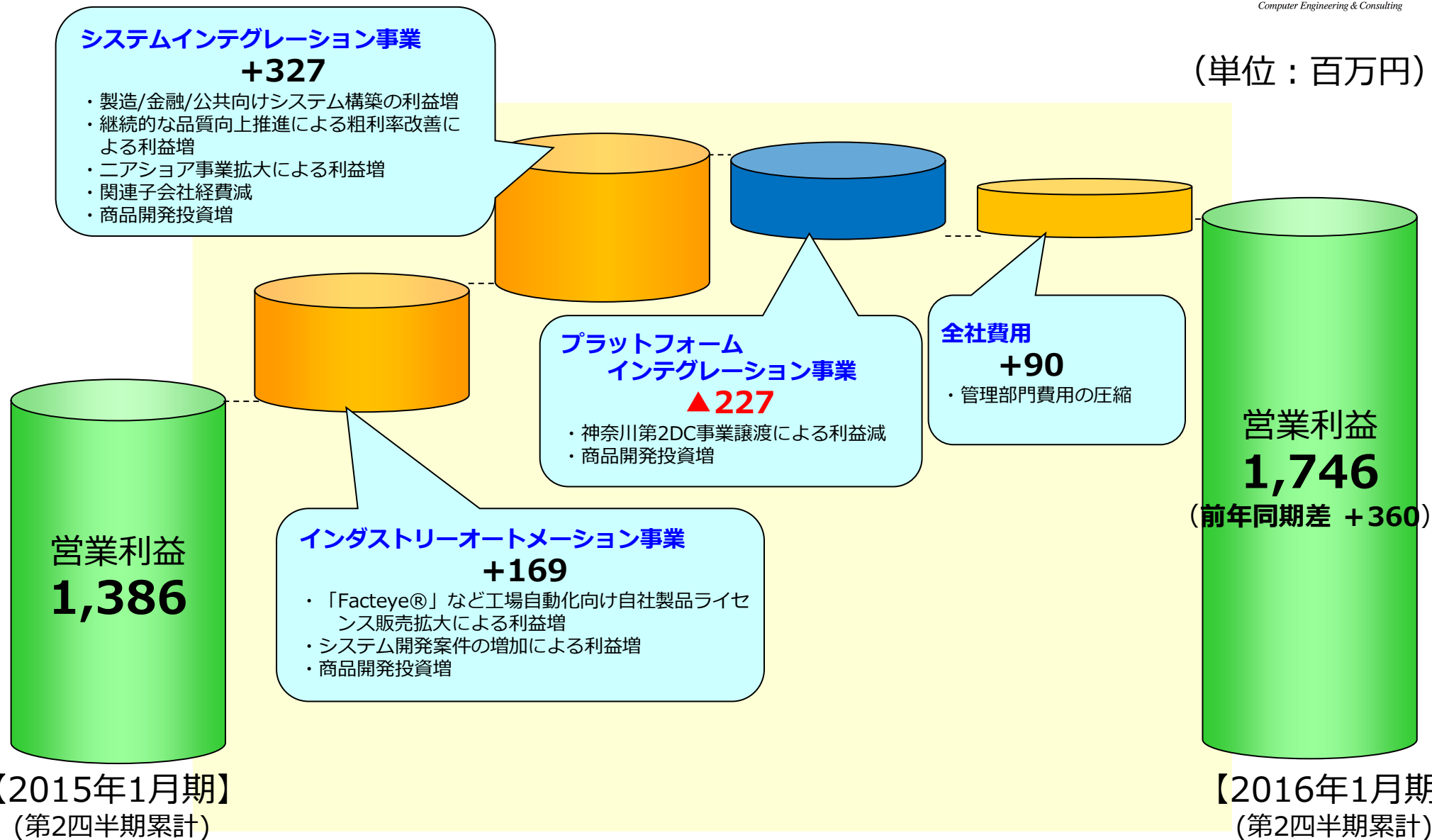
業種別売上の前年度比較

(単位：百万円)

業 種	2015年1月期 (第2四半期累計)	2016年1月期 (第2四半期累計)	前 期 比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	8,425 (40.6%)	8,965 (41.3%)	+539	+6.4%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	5,477 (26.4%)	5,439 (25.0%)	▲38	▲0.7%
金 融 業 (構 成 比)	3,906 (18.8%)	3,669 (16.9%)	▲236	▲6.1%
流 通 業 (構 成 比)	1,055 (5.1%)	969 (4.5%)	▲85	▲8.1%
官 公 庁 (構 成 比)	639 (3.1%)	1,205 (5.5%)	+565	+88.4%
そ の 他 (構 成 比)	1,240 (6.0%)	1,481 (6.8%)	+240	+19.4%
合 計	20,746	21,732	+985	+4.8%

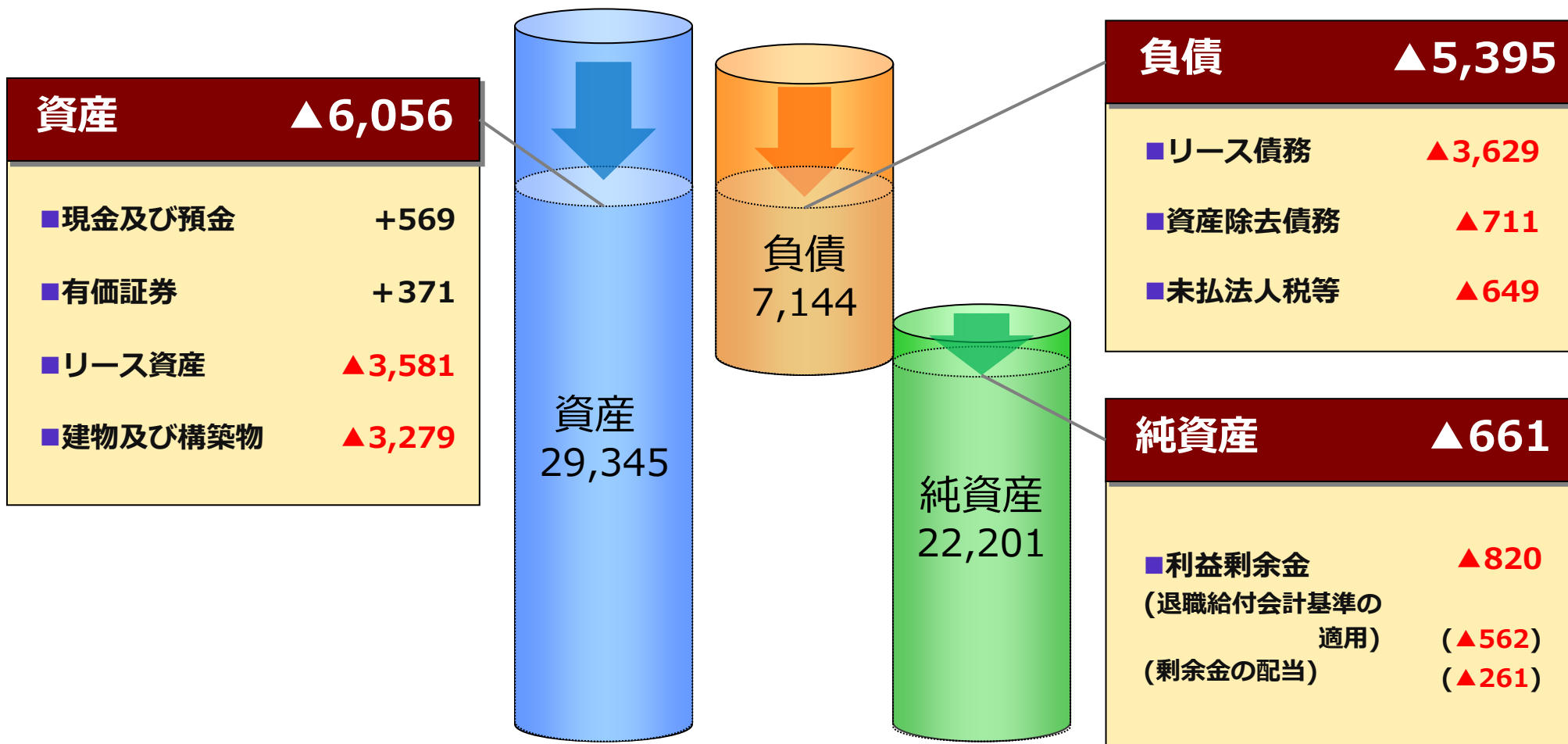
連結営業利益の主な増減要因

(単位：百万円)



連結貸借対照表 期首との比較

2015年7月31日現在
(単位：百万円)



※48期期首BS資産残高：35,402

業績ハイライト

- **売上高は増収 対前年同期 +985百万**
 - **インダストリーオートメーション事業**
 - ・大手製造業の設備投資拡大を背景に、工場自動化ソリューション関連の自社製品ライセンス販売およびシステム開発が拡大
 - **システムインテグレーション事業**
 - ・金融・製造・公共分野のシステム構築案件/ニアショア事業の堅調な増加
 - **プラットフォームインテグレーション事業**
 - ・神奈川第二DC事業譲渡による大幅減収要因があったものの、神奈川第二DC以外のデータセンター事業は好調に推移し減収幅を縮めた
 - ・認証印刷ソリューションSmartSESAMEは、大型案件の失注や下期への受注延伸が見られたものの、上期は前年同等レベルを確保
- **営業利益は増益 対前年同期 +360百万**
 - ・売上増に伴う利益増
 - ・品質向上活動の継続的推進による粗利率改善
 - ・粗利率の高い自社製品関連ライセンス販売増
- **経常利益は増益 対前年同期 +519百万**
 - ・営業利益増益要因に加え、有価証券保有目的変更による評価益増
- **純利益は減益 対前年同期 ▲814百万**
 - ・神奈川第二DC事業譲渡に伴う特別損失▲1.8億があり、当初上期予想は▲7億円としていたものの、事業全体は好調に推移した結果、黒字を確保

新製品・サービスを創出し、事業構造改革を着実に推進

□ インダストリーオートメーション事業

6月 2日 生産設備の事前検証ソフトウェア「Sequence-Eye」を日産自動車と共同開発

6月25日 工場立ち上げを仮想検証するソフトウェア「Virfit」の新バージョン発表

□ システムインテグレーション事業

3月13日 日本マイクロソフトとクラウドサービス分野で協業強化、「Convergent」を発表

5月21日 レガシーシステムを戦略的に再生させるサービス「Re@nove」提供開始

6月25日 古野電気とETC利用車両認識サービス事業で協業、「CaoThrough」を発表

□ プラットフォームインテグレーション事業

2月25日 SmartSESAME M's eye connect box統合ログプラットフォーム出荷開始

3月10日 複合機スキャンを活用したオフィス業務の効率化支援サービス開始

3月10日 OCRソフトと連携、紙書の電子化を効率的に実現するスキャンサービス開始

5月26日 SmartSESAME SecurePrint ! コンビニプリントのサービス開始

6月16日 AS400クラウド移行サービス「BizVision PLUS 400」をサービス開始

7月29日 シンクラ環境でUSB接続機器を安全活用するVUMSの販売開始



通期見通し

業績予想

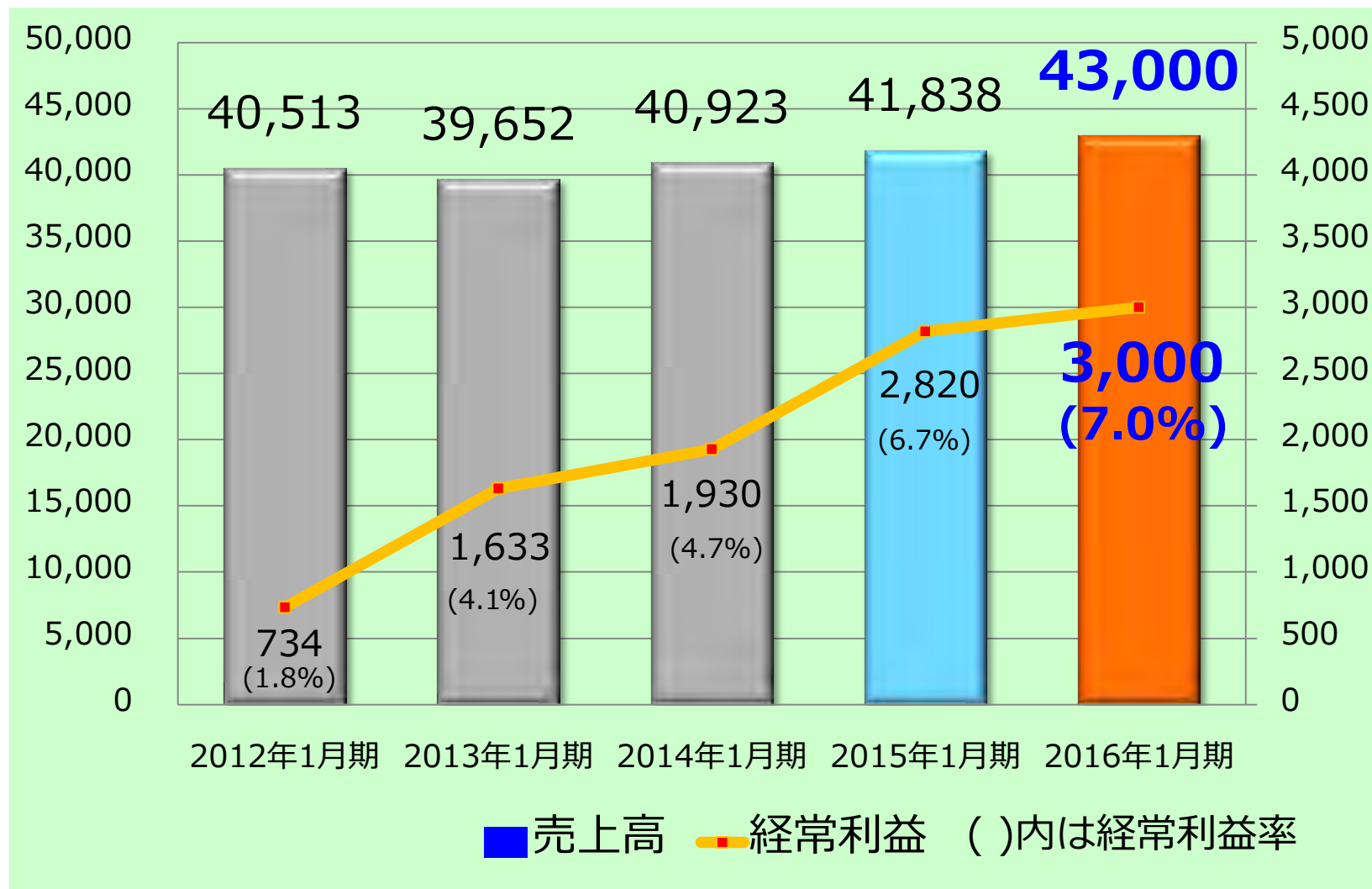
(単位：百万円)

	2015年1月期 実績	2016年1月期予想		
			増減額	増減率
売上高	41,838	43,000	+1,161	+2.8%
営業利益	2,874	2,900	+25	+0.9%
営業利益率	6.9%	6.7%	(▲0.2%)	—
経常利益	2,820	3,000	+179	+6.4%
経常利益率	6.7%	7.0%	(+0.3%)	—
当期純利益	1,762	900	▲862	▲48.9%
当期純利益率	4.2%	2.1%	(▲2.1%)	—

業績予想の過去比較

売上高(単位：百万円)

経常利益(単位：百万円)



事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)

新事業セグメント (ビジネスグループ)	2015年1月期		2016年1月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インダスリー オートメーション	8,896	1,354	9,500	1,520	+603	+165
システム インテグレーション	19,496	3,212	20,800	3,380	+1,303	+167
プラットフォーム インテグレーション	13,445	1,702	12,700	1,400	▲745	▲302
全社費用		▲3,394		▲3,400		▲5
全事業	41,838	2,874	43,000	2,900	+1,161	+25

グローバル環境の変化による経営リスク

■ 課題満載の欧州リスク

- ・ギリシャデフォルトによるEU経済の混迷長期化
- ・欧州におけるISテロ続発によるEU圏の不安
- ・難民急増による社会構造変化に伴う欧州経済不安定化

■ 懸念広がる中国リスク

- ・すでに世界のマーケットとなった中国の経済成長率鈍化
- ・中国バブル崩壊が現実味
- ・中国貧富差拡大と急激な腐敗粛清による国家情勢に揺らぎ
- ・中国の覇権拡大顕著化によるアジア不安定化

■ 次なるリスクはロシア経済

- ・原油価格暴落
- ・ウクライナ問題長期化による経済制裁の継続

想定される経営リスク

- ① 円高、株安による日系グローバル企業の業績低迷
- ② 日系グローバル企業の設備投資抑制によるソフト受託開発商談の減少
- ③ 日本経済減速による構造的不況の再来
- ④ 世界同時不況に陥る可能性も. . .

今後の景気動向が不透明な中、6月に上方修正した見通しを据え置くものの、成長に向けた施策を着実に推進

□ インダストリーオートメーション事業

- ・ IOT/ビッグデータ技術を使い、工場の自動化を実現する自社製品・サービスの開発・販売強化
- ・ 検証ノウハウを活かし、顧客製品開発を統合的に支援するデジタルエンジニアリング事業に注力

□ システムインテグレーション事業

- ・ 金融/製造/公共分野を中心に自社製品・サービスを軸としたSI事業の推進強化
- ・ マイクロソフト社との協業を加速し、「Convergent」の事業拡大

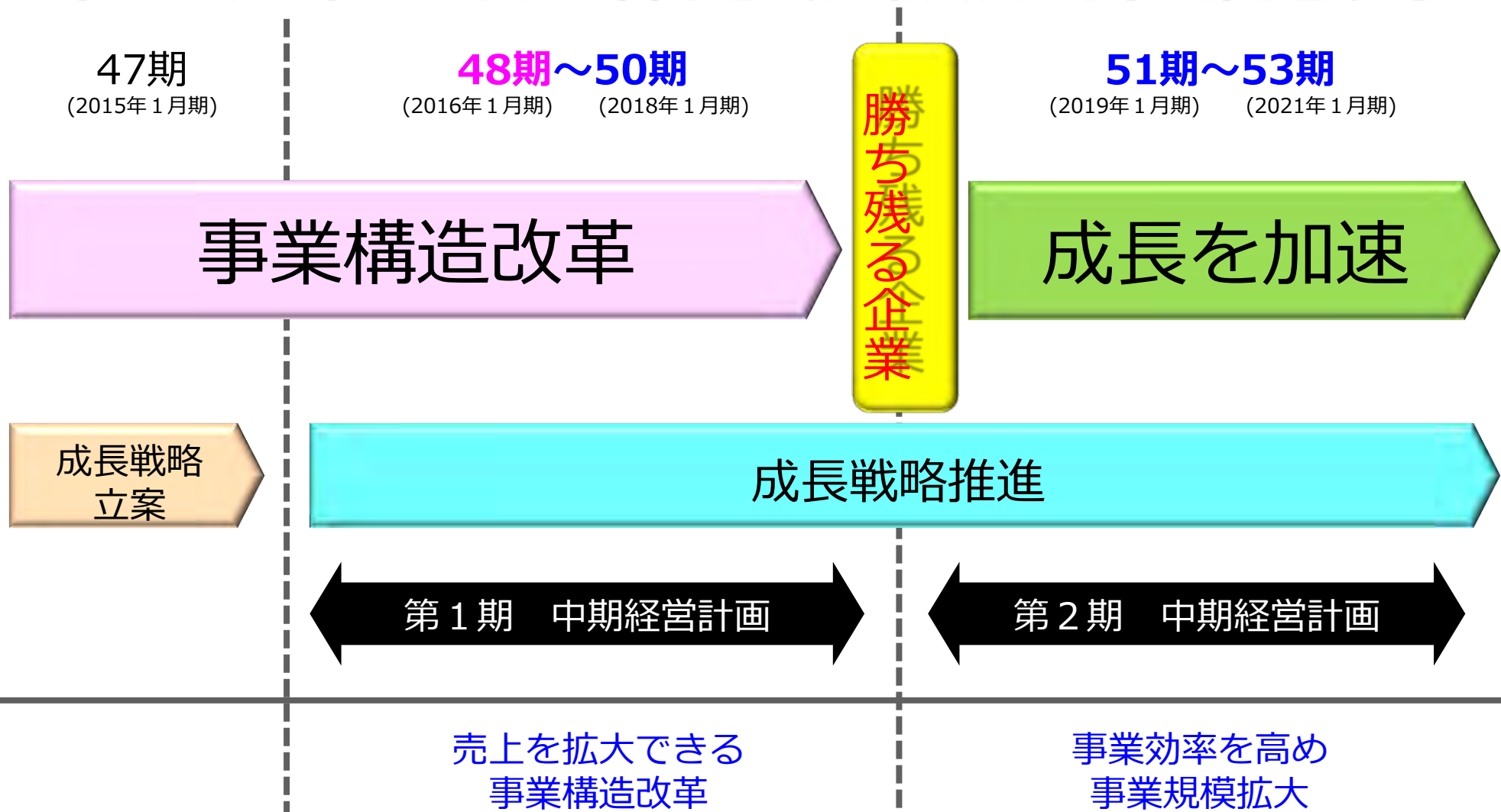
□ プラットフォームインテグレーション事業

- ・ 企業のガバナンス強化に伴うセキュリティソリューションの事業拡大
- ・ 新たなデータセンター事業戦略の展開と推進
- ・ サービスを拡大したSmartSESAMEの販売促進



成長戰略
概要

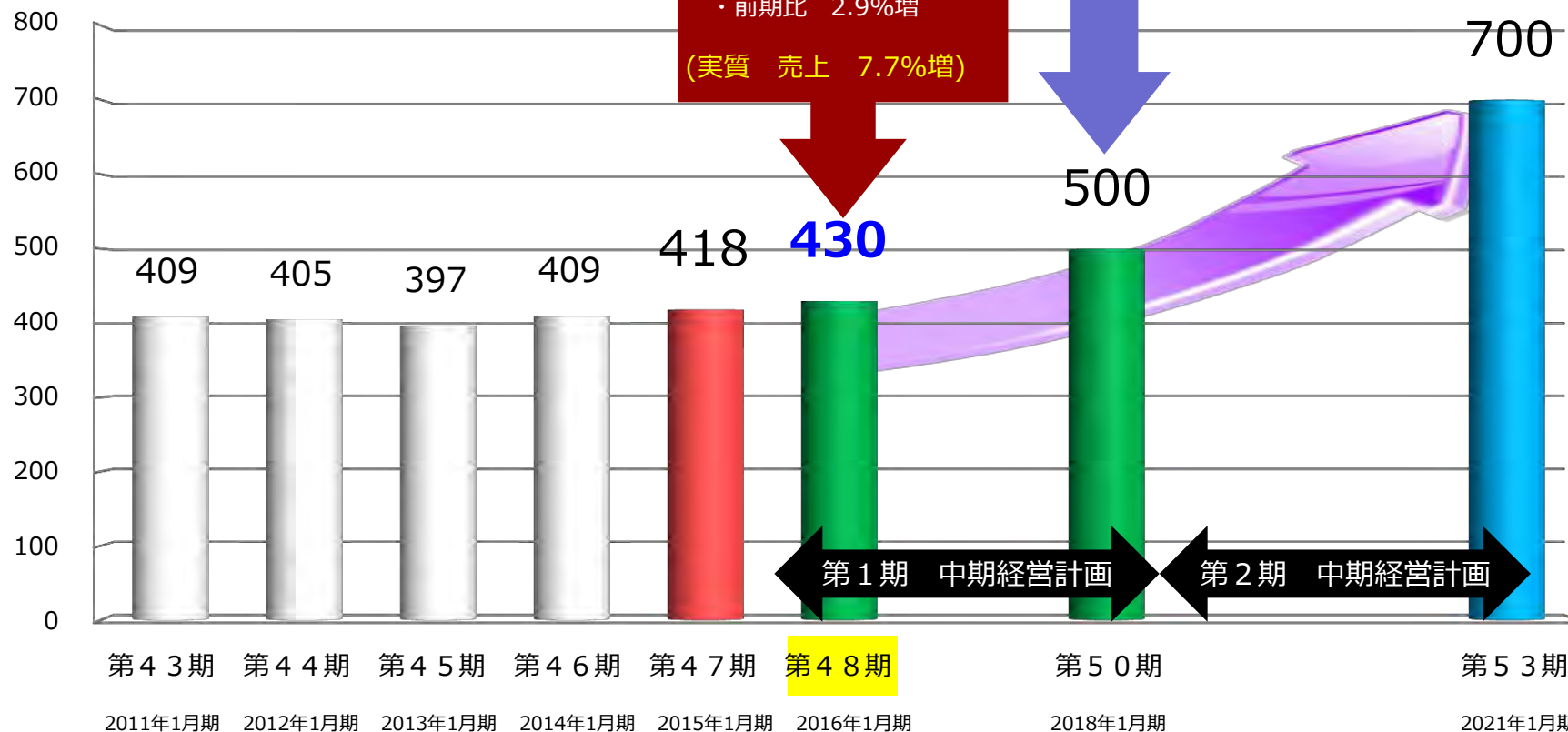
第48期～第53期の6年間を成長戦略の対象期間とする



連結売上高の数値目標

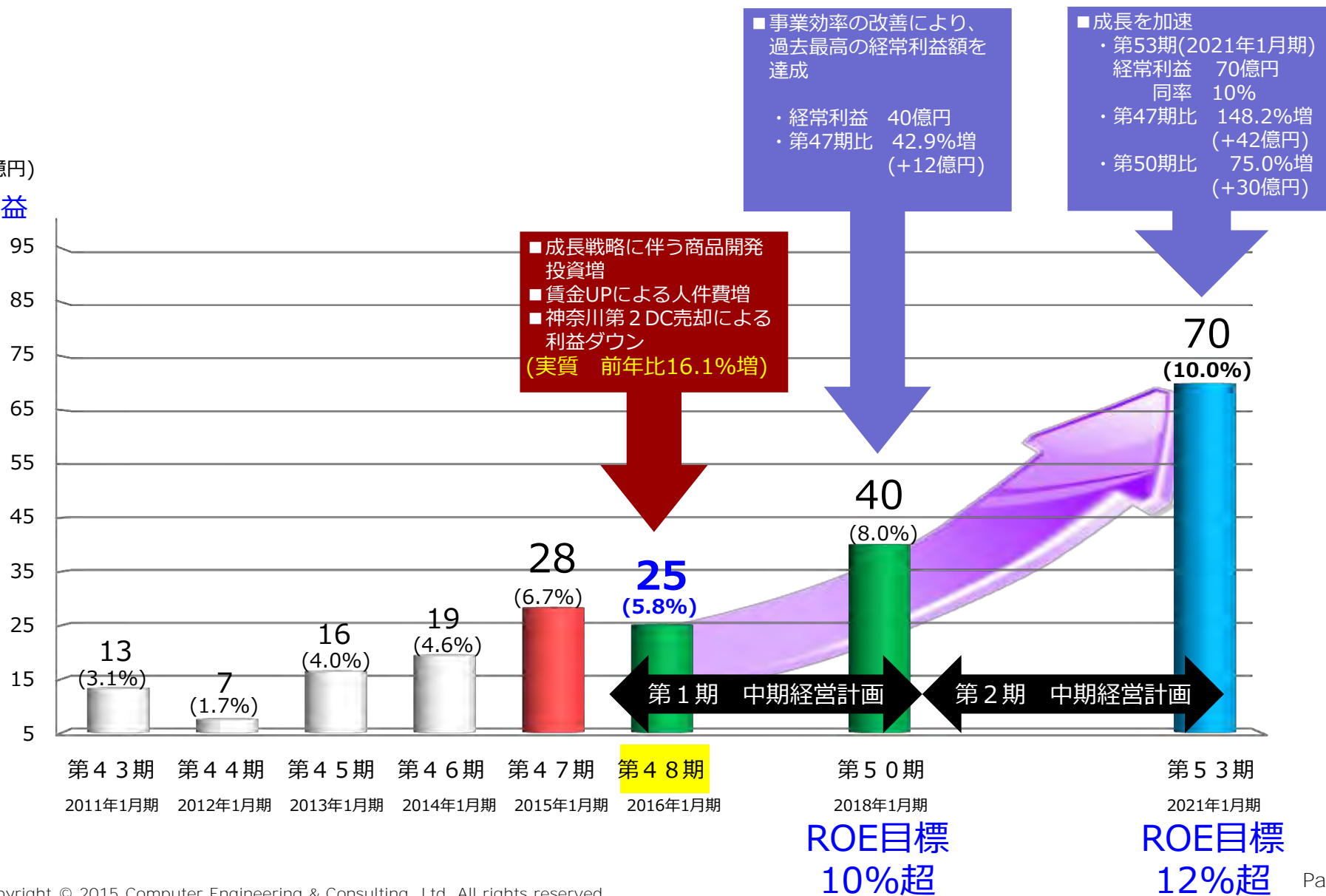
(単位億円)

売上



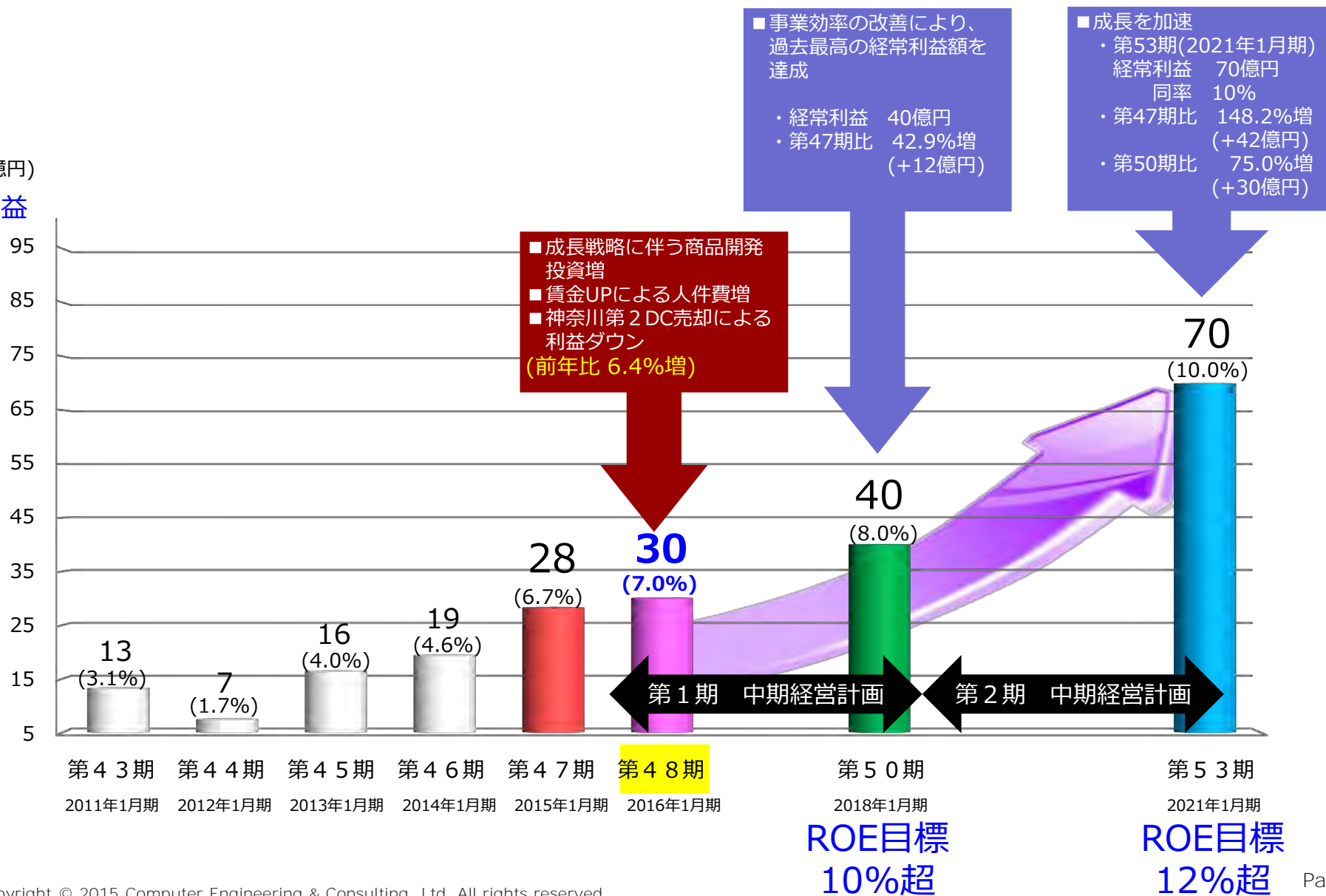
連結経常利益の数値目標

(単位億円)
経常利益



連結経常利益の数値目標

(単位億円)
経常利益





**特徴ある製品・サービスで社会的に認知され、
市場から期待される企業**



**新たな商品（製品・サービス）を常に生み出し、
投資と収益のバランスが取れた競争力ある企業**



**従業員が活力にあふれ、自己の成長を実感でき、
会社の成長への貢献に喜びを感じられる企業**

■ 基本方針

強みを より強く
徹底的に強く

■ 目標とする姿

- ① 「選択と集中」によるトップブランド戦略
- ② 生産性/品質レベルの格段の向上
- ③ 単体の売上高/経常利益額の向上に注力
- ④ 従業員の付加価値向上
- ⑤ 技術力が成長のエンジン
- ⑥ 女性の活用促進
- ⑦ 働きやすい会社

“第53期までに、一人当りの売上高30百万/年”

“積極的な人材育成投資”

“第56期までに、女性従業員比率を30%に”

“ワークライフバランスの取れた就労環境”

当社の最大の“強み”は2つ

① 強力な組立製造業の顧客基盤と技術力

- 当社取引先では、組立製造業がトップ（53%）
- 日本を代表する大手製造業との取引を多数持つ



自動車産業

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研
日野自動車
ダイハツ自動車
アイシン精機
デンソー
etc



NC・ロボット産業

ファナック
安川電機
三菱電機
オオクマ
デンソー
不二越
etc



複合機・プリンタ産業

キヤノン
富士ゼロックス
リコー
コニカミノルタ
シャープ
エプソン
パナソニック
東芝テック
理想科学
etc

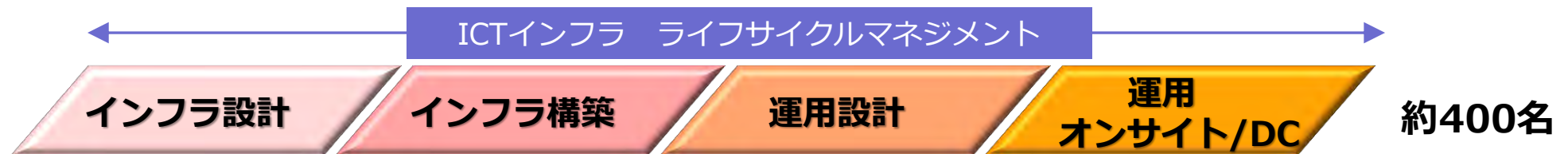


電機産業

ソニー
パナソニック
三菱電機
シャープ
etc

② ICT基盤技術部隊を持つ

- ICTインフラに関するLCMサービスすべてを提供



大手SIer以外に同様な体制を持つICT企業は少ない



第1期中期経営計画



INTEGRATE

統合する 調和する 完成する

事業テーマ

商品を変える

■ 基本方針

特徴ある事業モデルに集中し 事業効率の高い事業構造を創り上げる

■ “グッドカンパニー” = “勝ち残る企業”を目指す

- ① 3年間は売上規模拡大ではなく、事業構造改革に注力
- ② 事業効率の向上 “経常利益率8%の達成”
- ③ 事業構造改革 “3つのビジネスグループに集中し特徴ある事業内容に”
- ④ 製品・サービスの創出 “積極的な商品開発投資”
- ⑤ 働きやすい会社 “平均残業時間の引き下げ/有休取得率100%”

グッドカンパニーとは？

- 健全な財務体質
- 成長が期待できる事業内容
- 優秀な人材が集まる
- 高い事業効率（経常利益率8%以上）
- 高い株主貢献（高い株価、高配当）

第1期 中期経営計画

商品の見直しを行い、事業構造を改革し、グッドカンパニーを目指す

勝ち残る企業



第2期 中期経営計画

グッドカンパニーであることを維持しつつ、さらに成長を加速し、企業規模拡大を目指す

ビッグカンパニーへの挑戦

“強み”を際立たせる3つのビジネスグループ

製造業をICTで支えるCEC

特定業種に強いSIerのCEC

業種業務分野

インダストリ
オートメーション
ビジネスグループ

システム
インテグレーション
ビジネスグループ

ICTインフラ分野

プラットフォーム
インテグレーション
ビジネスグループ

独立系企業ICTインフラ構築No.1のCEC



インダストリーオートメーション

ビジネスグループ

■ 事業コンセプト

製造業に工場自動化ソリューションを提供し生産効率の向上に貢献、日本版インダストリー4.0の中核を担う

■ インダストリーオートメーション事業を最重点分野とする

- ① IA分野にリソースを集中し、技術・ノウハウを集約
- ② 製品・サービスの開発投資をIA分野に集中し、競争力ある商品を創出
- ③ 当社製品と連携可能なISVとの協業強化
- ④ 設備機器メーカーとの連携推進

□ 設備予兆保全・製品品質管理・トレーサビリティ

- ① 工場内すべてのロボット/PLC/工作機械など設備(IoT)の稼働情報を収集(ビッグデータ)、迅速/的確な設備保全と生産プロセスにおける品質トレーサビリティを可能とする
- ② 製品開発プロセスにおいて各種情報を蓄積し、品質トレーサビリティを可能とする

□ 「匠」の継承

- ① 高齢化した熟練技術者の技術をICTにより再現、最適化し人材不足を補う
- ② ロボット動作のシミュレーション、動作プログラムの自動生成
- ③ 生産ラインコントローラPLMラダープログラムの自動生成
- ④ 工作機械等NC制御プログラムの自動生成

□ 工場の無人化支援

- ① シミュレーションから稼働指示へ、シミュレーションしたそのままに工場全体を稼働させる
- ② 全国の工場稼働状況をネットワークを介し、リモートで稼働監視
- ③ 工場全体の稼働シミュレーション
- ④ 生産物流ラインの稼働シミュレーション
- ⑤ 生産/物流業務におけるピッキング効率化支援

□ 工場の安心安全

- ① 位置測位センサーを活用し、衝突防止/危険通知
- ② 屋内3次元の位置測位システム

□ 工場内情報セキュリティ

- ① ICカード、センサーを活用した作業管理



システムインテグレーション

ビジネスグループ

■ 事業コンセプト

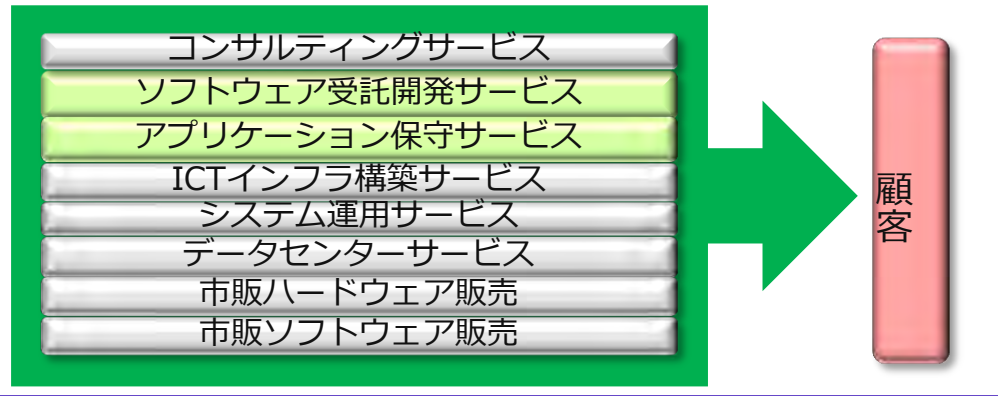
**特定分野(業種、業務)に強みを持ち
SIerとして付加価値ある統合サービスを
提供、顧客基盤をさらに強化・拡大
する**

■ 付加価値向上により、一人当りの売上高を大幅に拡大

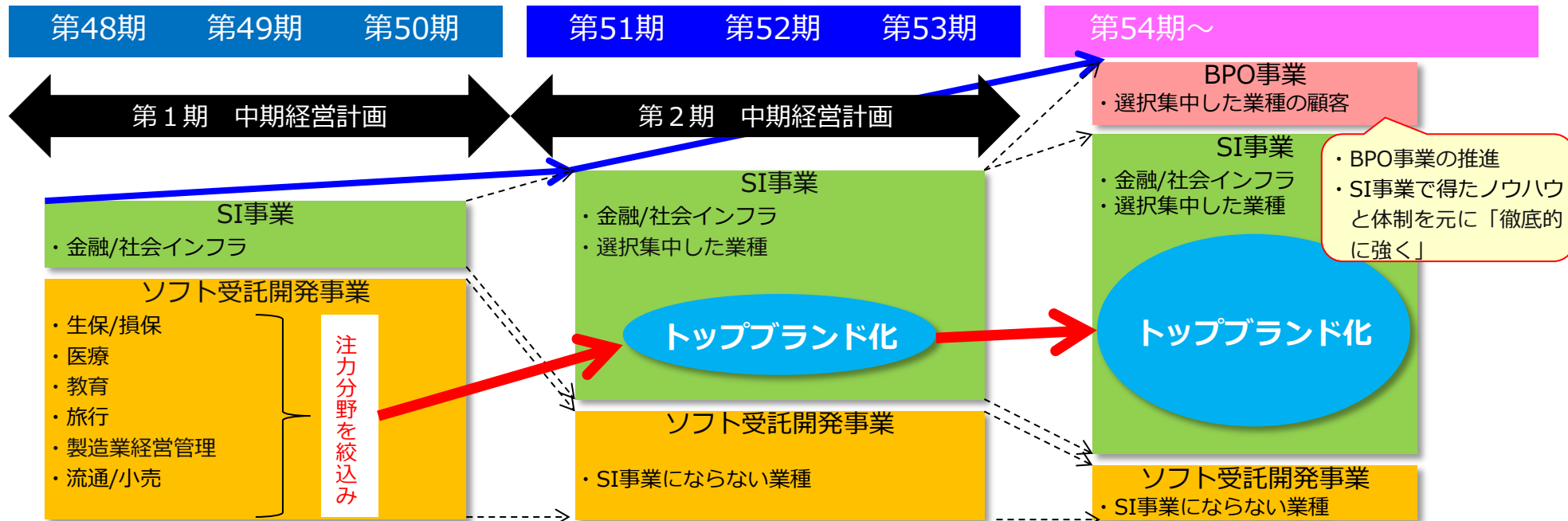
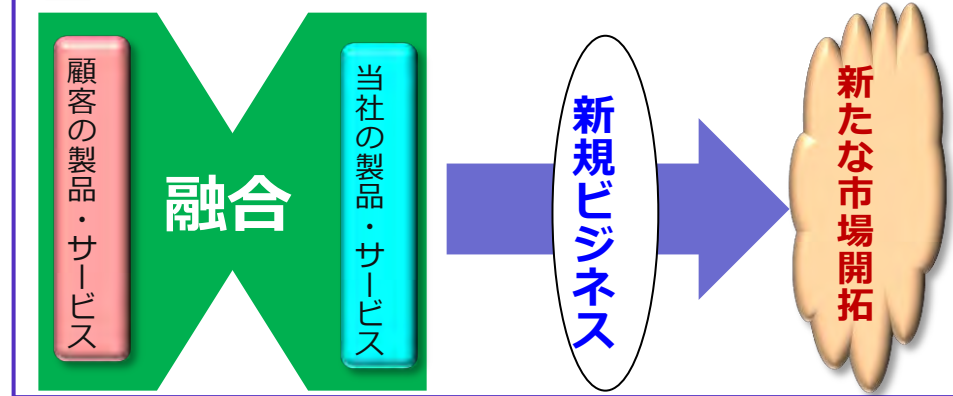
- ① 業種を絞り込み、強みを活かすサービスメニューを整備
- ② 特定顧客のビジネスパートナーとして、将来的にはBPOを狙いストック化する
- ③ 顧客の製品と当社のICTサービスを融合し、新たな成長市場を開拓

システムインテグレーション事業 概略

1 SIビジネス



2 顧客との協業ビジネスの創出





プラットフォームインテグレーション

ビジネスグループ

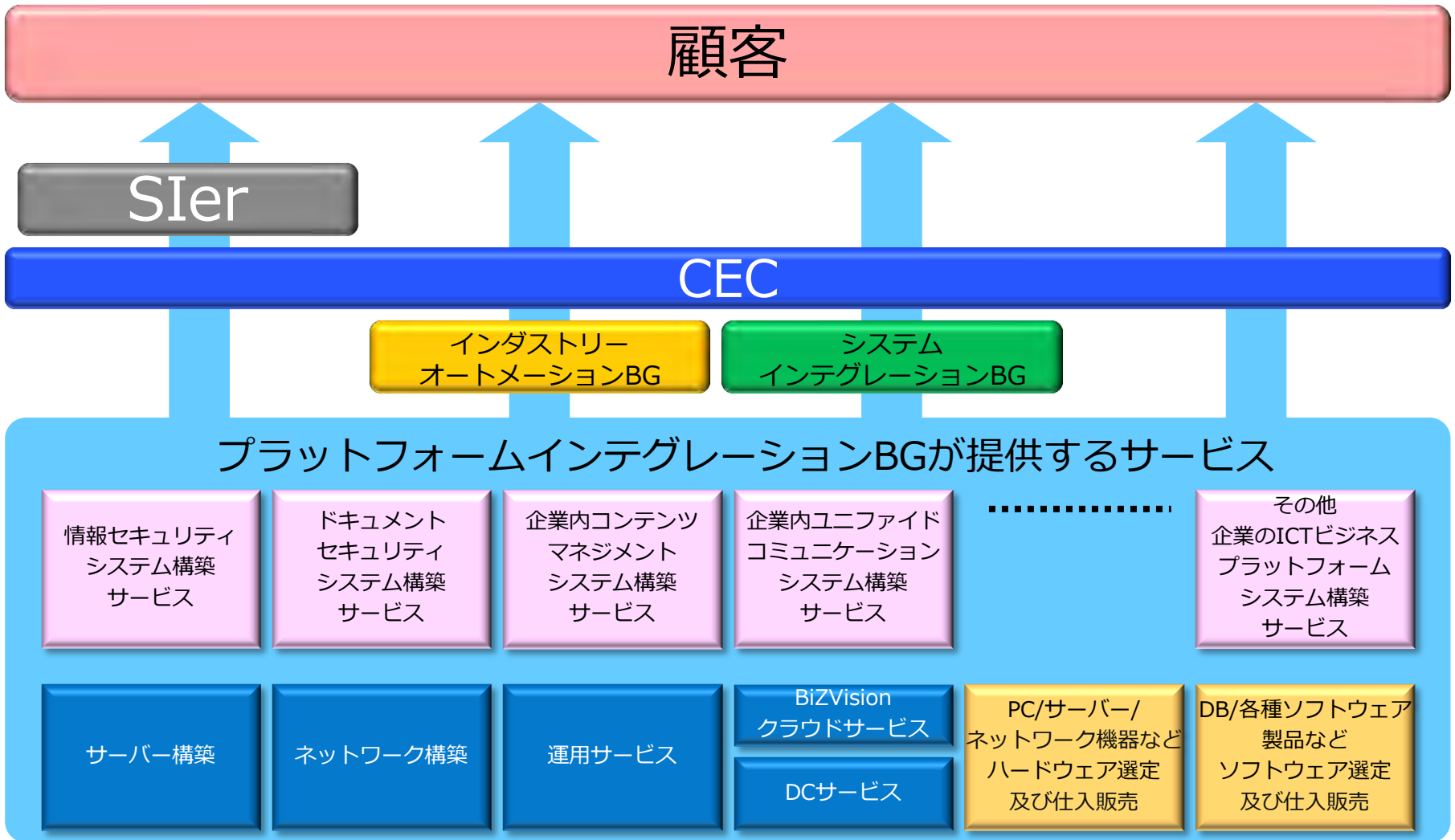
■ 事業コンセプト

ICTインフラ技術をさらに高め 独立系企業においてICTインフラ構築・ 運用サービスNo.1を目指す

■ ICTインフラ構築ビジネスは当社の強み、徹底的に強くする

- ① 大手SIerとの協力関係を、さらに強化
- ② ICTインフラのLCM全体のサービスを提供できるサービス体系の確立
- ③ サーバー/ネットワーク構築だけでなく、その上位の企業の情報系ICTビジネスプラットフォームをシステムとして構築するサービスを加え、エンドユーザ開拓を強化
- ④ SIerや競争力あるITベンダーとの協業関係を積極的に構築

ICTインフラ構築サービス事業 概略

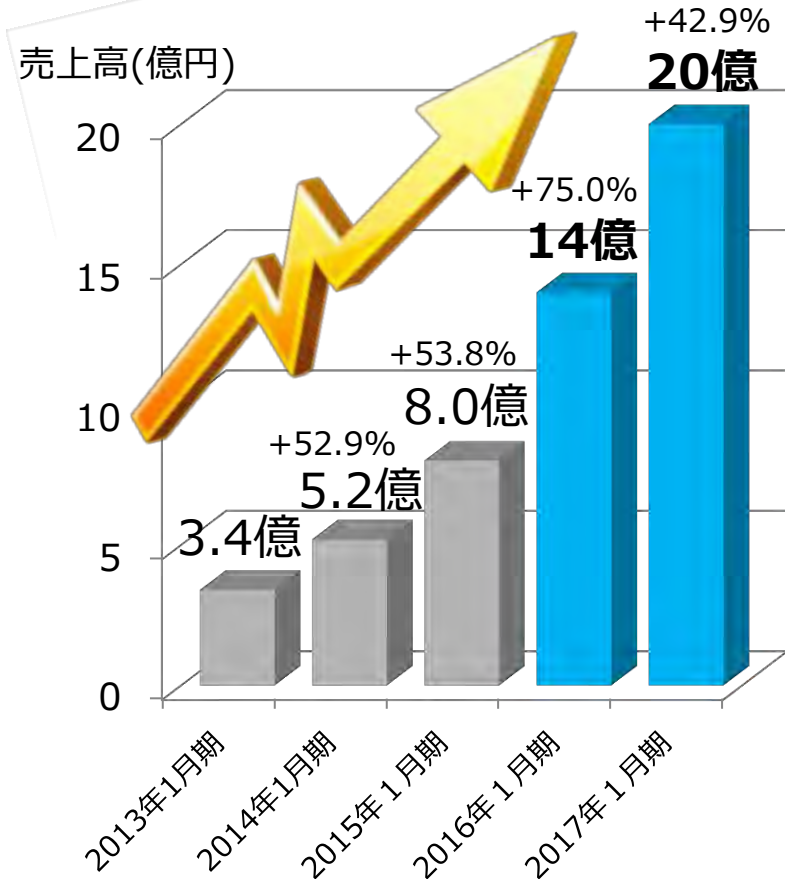


提供するサービスを、「点」から「線」、そして「面」に

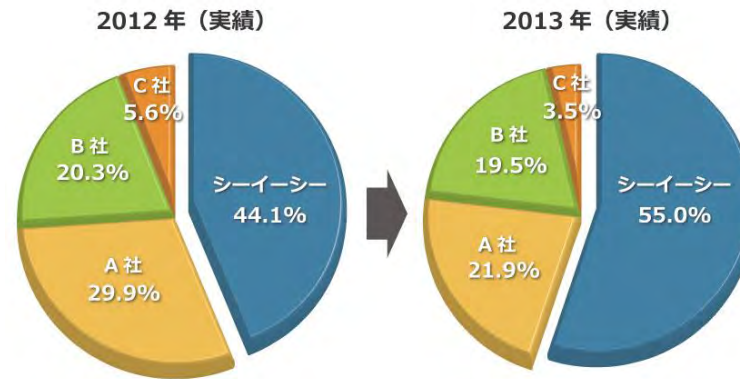
認証印刷ソリューションのさらなる成長加速

Computer Engineering & Consulting

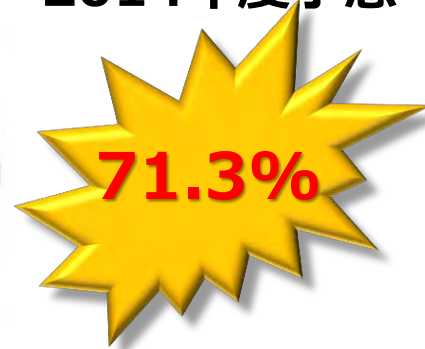
□ **認証印刷ソリューションSmartSESAME SecurePrint! は**
デファクト製品に ~マイナンバーを背景にセキュリティ市場拡大~



○ **2年連続トップシェア獲得**



2014年度予想



出典：株式会社ミック経済研究所「成長性高いセキュアプリントシステムの市場動向」
 (ミックITレポート)

官公庁・自治体での採用拡大



官公庁・独立行政法人

導入済 **11** 提案中 **7**



自治体

導入済 **13** 提案中 **22**

認証印刷ソリューションの売上実績及び今後の見込

(※関連サービスを含む)

“攻め”の積極的投資をさらに継続！！



トピックス

著名な企業との連携・協業が加速

- SmartSESAME SecurePrint！ 総務省様導入事例を発表
- マイクロソフト社 Inner Circle for Microsoft Dynamicsを受賞
- 日本マイクロソフト社 Microsoft Champ Best Contributorを受賞
- 日本マイクロソフト社 パートナー・オブ・ザ・イヤー
Customer Relationship Managementコンピテンシーアワード受賞
- 株式会社サトーと業界初の物流倉庫内ナビゲーションシステム
「Visual Warehouse™」を共同開発
- Dell社 国内初のDell Data Protectionパートナーに認定

INTEGRATEは着実にスタート

INTEGRATE

“**守り**” から “**攻めの経営**” へ
大きく舵を切った

**成長のための製品・サービスを
継続的に創出し、新規事業を生み出す**

顧客

協力会社

四面**謳**歌

従業員

株主

常に顧客・協力会社・従業員・株主と
喜びを分かち合える会社になる

ご清聴ありがとうございました



Shape your future

[お問合せ先]

株式会社シーイーシー

企画部 広報グループ

03-5789-2442

経理部 IR担当

046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。